

理念

生命を安心して預けられる病院 健康と生活を守る病院  
「あなたとあなたの家族によりそう」「安全 快適 自己実現」

医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院

広  
報  
誌

# よりそう

vol.40

## ～医療でつながる これからをつなぐ～ 中学生職場体験会を開催

医療法人  
徳洲会の理念

“生命を安心して預けられる病院”  
“健康と生活を守る病院”

徳洲会グループは  
「生命だけは平等だ」の理念の下、  
「いつでも、どこでも、誰でもが最善の医療を  
受けられる社会」を目指しています。



# 正確・迅速・的確に、 技術とともに育む“よりそう”気持ち ～症状に向き合い、治癒に努める～

七北田中学校と将監中学校の生徒の皆さんが、職場体験学習で来院されました。

グループ毎に日程を分けて、病棟、手術室、リハビリテーション、検査科を見学し、実際に医療機器に触れてもらい、薬剤科では、同姓同名の方へのお薬の渡し間違いや、用量間違いなどのヒューマンエラーを防ぐため、二重、三重のチェックをして慎重に処方薬を準備をする工程を模擬体験してもらいました。外来受診をされる患者様からは、お薬が出来上がるまでの時間が長いなどご意見を頂戴する事が多々ありますので、正確且つ、迅速に対応する心配りの重要さもお話させて頂きました。



放射線科



検査科



薬剤科



リハビリテーション科



病棟での処置体験



カテーテル検査室



救急救命士による救急車乗車体験



研修医による講義

リハビリテーション科では、実際に装具をつけて歩行体験。一旦入院すると、元の生活に戻るまで、いかに大変かを装具を付けて体験。リハビリの大切さを感じてもらいました。人の痛みを理解してこそ人にやさしくできる。医療従事者にとって、もっとも大切な心構えです。当院の医師や看護師、検査部門の技師全てが、未来の医療を担ってくれる人材育成に真剣に取り組んでいます。

# 手術室の職場体験レポート、 ちょっとだけ部署のご紹介。

仙台市内の中学生が職場体験で手術室に来てくれました。

外科部長の神賀医師やCE、手術室スタッフと一緒にダヴィンチの説明を聞き、実際操作してもらいました。手術で使用する器械や鉗子に触り、操作の難しさや細かい動きに、驚きと学びがあったと思います。手術室ならではの様々な体験を将来に繋げてくれるとうれしいです。



手術室は現在、3階にあり全部で8部屋あります。麻酔科医4名、スタッフ17名、クラーク1名で運営しています。四季折々の飾り付けをしており、患者さんが少しでも安心して入室できるよう環境を整えています。

手術室では、令和5年4月より手術支援ロボット、ダヴィンチ手術が始まりました。ダヴィンチは、低侵襲技術を用いて複雑な手術を可能とするために開発されました。当院では現在、外科の消化管手術において、ダヴィンチを使用しています。

## ダヴィンチの優れている所①…鉗子の自由な動き

従来の腹腔鏡手術では手元の動きと鉗子の動きは逆方向でしたが、ロボット手術では同方向への自然な動きが可能です。ダヴィンチ・システム独自の機能で術者の手ぶれも防止されます。操作が容易で人間の手首や指と同じように操作できます。

## ダヴィンチの優れている所②…執刀医の負担軽減と患者さんへの負担が軽減

ダヴィンチ手術では、座って手術が行えるため医師の肉体的な負担も軽減できます。加えて手ブレ防止機能によって突発的な動きを制御し医師のメンタルもサポートしています。術者にかかるストレスが軽減され、より確実な手術を行えます。患者様に対しても、手術中の出血量が少ない、手術後の疼痛が軽減できる、合併症リスクの大幅な回避ができるといったメリットがあります。

## ハート の病気にハート を込めて

5階南病棟は、循環器内科、心臓血管外科、呼吸器内科、その他内科疾患患者の混合病棟です。循環器内科では心筋梗塞、狭心症、心不全の患者さんが多く、心臓カテーテル検査、治療を行っている病棟です。

主に循環器動態管理の患者が多いため心電図モニターの監視、人工呼吸器、各種ME機器、胸腔ドレーン管理が必要とされています。様々な疾患を抱えた患者さんが入院されていますが、患者様がいつ急変しても、迅速に対応出来るよう、日々看護師は訓練をしています。

院内研修や院外研修で、BLS、ACLSを受講し、患者さんの命を最優先にした看護を提供していきたいと考えております。

そこで先日、循環器科の医師が新人看護師を対象に急変時の対応について勉強会を開催致しました。



このように医師とも常にコミュニケーションをとり、わかりやすくレクチャーして下さるため、私たち看護師は勉強しやすい環境にあります。

今後も患者さんのことを第一に考え、臨機応変に対応できる看護師を育成、強化していきます。

# 6南 整形外科病棟

6階南病棟は病床数42床の整形外科病棟です。  
手術は毎日2〜3件あります。  
機能回復を目標にリハビリに励んでいる患者さんも多く  
活気のある病棟です。  
また、病棟から外来へ看護師を配置しており、  
外来、病棟と継続した看護ができるように取り組んでいます。



## こんな患者さまが 入院しています

ケガや事故で  
骨折した方

近隣の病院から  
紹介された方



年齢層は小児、学童から成人、高齢者まで幅広いです。急性期の病棟のため、手術目的の入院が多く、ほとんどが緊急入院の患者さまです。主な疾患としては、工作中的のケガなどによる上下肢の骨折、変形膝関節症などの変性疾患、転倒による大腿骨頸部骨折などの骨粗相症を基盤とする骨折の患者さまです。

仙台たなか整形外科スポーツクリニックをはじめ、近隣の病院からの紹介患者さまも多く入院・手術を受けていらっしゃいます。手術の後は退院まで継続したりリハビリテーションも行っています。



## 手術までの流れ

外来受診  
～入院

入院後

手術前日

手術当日

手術直後

手術  
翌日以降

外来受診し、治療方針が決定します。また、手術に向けての事前検査をしていきます。

手術の同意書の準備や、手術当日に内服する薬の確認をしていきます。

手術当日の流れを説明し、安心して手術を受けられるように援助します。手術前に皮膚が清潔か、爪が伸びていないか確認していきます。

手術を受けるために着替えをしたり、点滴投与をしたりと準備をしていきます。

手術直後は全身状態の管理を行い、異常の早期発見に努めていきます。

リハビリ計画に沿って、リハビリ開始となります。リハビリの内容や進行状況について、スタッフと共有し、安全に生活できるように援助していきます。

## 退院後の生活に不安のある方へ



地域連携室のスタッフと毎日患者さまの情報共有を行い退院調整を行っています。

退院後も必要であれば通院リハビリができます。

当院の医療ソーシャルワーカーへ退院後の相談ができます。また、ご自宅へ退院するにあたり、必要なサービス等の調整もケアマネージャーと連携し調整いたします。

## 人間は食べたものでできている 食のふしぎはからだのふしぎ

こんにちは、栄養管理室スタッフです。

当院の栄養管理室は管理栄養士6名、栄養士1名、調理師8名、調理補助3名が在籍しています。主な業務は、患者様の食事提供や栄養指導、栄養管理業務、糖尿病教室、人間ドック食の提供などを行っております。

### ■ 食事提供

常食・全粥食・五分粥食・潰瘍食・糖尿病食・脂質異常症食・心臓病食・腎臓病食・肝臓病食・脾臓病食・ミキサー食・ソフト食・刻み食・刻みトロミ食に対応しています。食事は温冷配膳車を使用して適温でお召し上がりいただけます。また、七夕や土用の丑の日、クリスマス、お正月などの行事食も提供しており、患者様にご満足していただけるような食事作りに努めています。

### ■ 栄養指導

普段の食事の問題点を一緒に見つけ改善策についてご指導いたします。

食事でどんなことに気をつけたらよいか分からないなどお困りの際には、お気軽にご相談ください。ただし、指導を受ける際には主治医の指示が必要となりますので始めに主治医にご相談ください。

### ■ 栄養管理業務

NST業務、褥瘡管理業務、回復期リハビリテーション業務、早期栄養管理業務など、他職種と連携し低栄養の患者様の栄養状態の改善、QOLの向上に努めています。

### ■ 糖尿病教室

毎月1週目から4週目の金曜日、13時20分より当院の2階カンファレンスルームで行っています。食事療法について医師、管理栄養士、看護師、薬剤師と連携し食事状況、生活状況についてご指導しております。なお、現在は新型コロナウイルス感染対策のため、入院中の患者様のみご案内しております。



### ■ 人間ドック食の提供

当院の予防医学センターで人間ドックを受けた方に食事を提供しています。調理師が腕を振った豪華なお食事となっております。受診の際には是非召し上がってください。

# 健康寿命を延ばすため 健診・検診を活用しましょう



## いつまでも健康であるために

健康寿命を延ばし、いつまでも健康であるためには毎日の運動、野菜を意識した食生活、タバコを吸われる方はタバコをやめるといったことも重要です。こういった普段からできるちょっとした取り組みが健康寿命の延伸に繋がります。そして、その取り組みの中に健診、検診を盛り込んで上手に活用していくことで、定期的に自分の身体の状態を確認する、知っておくというのがおすすめです。

## 意識したい“健康寿命”

皆さんは健康寿命という言葉聞いたことがありますでしょうか。WHOが提唱した新しい指標で、健康上の問題によって日常生活が制限されることなく生活できる期間のことです。

日本は世界的な長寿国といわれていますが平均寿命と健康寿命の差は大きく、男性で約9年、女性で約12年の差があり、健康寿命をいかに延ばしていくかが今後の大きな課題となっています。

## 大事なのは予防・早期発見

健康寿命を延ばすために、厚生労働省では健診・検診での定期的な健康チェックを呼び掛けています。

早期だと自覚症状が全く無いという病気は少なくありません。そういったリスクを早期に発見し、対処していくためには、無症状のうちから定期的に自分の体の状態を知っておくことが重要です。

## 健診と検診の違いって？

健診と検診の読み方はどちらも「けんしん」ですが、それぞれの意味は異なります。まず、健診は「健康状態を調べる」ための診断を指す言葉です。健康診断は肥満や血圧測定など体の全体的なチェックを行うことが目的で、病気にならないようにする、生活習慣改善のための一次予防の検査となります。検診は「特定の病気を早期発見する」ことを目的としており、「がん検診」などのように、特定の病気を早期に発見して早期に治療するための二次予防の検査です。健診と、検診で意味、目的は異なりますが、どちらも健康を保つためには定期的に受けることが大切です。

予防医学センター(ドック・健診)

TEL: 022-771-5117  
FAX: 022-771-5118



# 仙台徳洲会病院

## 医療講演会

### 開催して みませんか?

定期的に健康講座を主催されている企業団体様からの  
“講師派遣依頼”も承っております。

医療・福祉に関する講座を、町内会・PTA・各種団体サークルなどで  
開催してみませんか?目的にあった医療講演が開催でき、  
皆さまからのご質問もお受け致します。  
講師派遣料を含み、お申し込み時に係る費用はございません。  
病気の予防や健康増進のため、是非ともご利用ください。

※開催する会場代とその光熱費、駐車場代はお申込み頂いた団体様にご負担頂きます。



各種団体  
サークル

PTA

自治会・  
職場

お問い合わせ

仙台徳洲会病院

tel.022-771-5134

\*医療講演担当者\*と御申しつけ下さい。✉ iryokoen@gmail.com 仙台市泉区高玉町9-8/fax.022-771-5135

## 当院ではMRIを用いた乳がん検診 「ドゥイブス・サーチ」をはじめました。

WEB予約



### 無痛MRI 乳がん検診の特長



痛くない



見られない



被ばくがゼロ  
だから安心



ご予約はWEBまたは  
TELにて受付

予防医学センター(ドック・健診)

tel.022-771-5117



医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院

〒981-3116 宮城県仙台市泉区高玉町9-8

TEL:022-771-5111(代表) FAX:022-771-5100

HPアドレス <https://sendai.tokushukai.jp/>

2024年(令和6年)3月発行

医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院 広報誌

編集・発行: 仙台徳洲会病院 広報委員

印刷所: モリタ印刷株式会社

仙台徳洲会病院 看護部

Instagram



広報ブログ

